

# 令和3年度第1回和光市公共施設マネジメント実行計画検討委員会

## 会議要旨

開催日	令和3年7月5日(火) 午前10時00分～午前11時30分
開催場所	オンライン会議（和光市役所3階 庁議室）
出席者	中川委員長、松宮副委員長、伊部委員、牧委員、中蔦委員
欠席者	矢部委員、稲葉委員
事務局	白川課長、岡田主幹、山根統括主査、酒井主査
次第	1 開会 2 新委員 委嘱 3 議事 (1) 第1次計画の進捗状況 (2) 都市計画マスタープランの進捗状況 (3) ヤリクリ大作戦～第2次計画の方向性 4 閉会
傍聴者	0名

<b>1 開会</b>	
事務局	○配布資料の確認 ○会議の公開について ・ 会議録は同条第6項の規定により公開する。
<b>2 新委員 委嘱</b>	
事務局	今年度、和光市の組織改正により公共交通政策室という部署が設置されたことに伴い、第4号玉川委員から、第1号伊部委員に交代。 ・伊部委員自己紹介。
<b>3 議事</b>	
事務局	6月25日に開催された埼玉県公共施設アセットマネジメント推進会議において、総務省より「公共施設等総合管理計画」見直しの技術的助言の説明があった。
	<b>(1) 第1次計画の進捗状況</b>
	都市マスとの足並みを揃えるため期間を1年延長して令和3年度までとした。第1次期間の年間投資可能額14億円に対し5年間平均で10.5億円となり目標は達成。小中学校個別施設計画も策定され、この計画を軸に複合化を検討していく。 5年間の主要事業として広沢国有地等利活用プロジェクトは順調に進んでいる。またコミセンと地域センターの統廃合した施設を建設中。第三小学校、下新倉小学校の借地の一部を解消。老朽施設の大規模改修等が主な事業となっている。 今後のスケジュールとして、11月頃に第2次計画の素案を作成し、12月に

	<p>パブリックコメントを経て、3月議会にて議長報告という流れになる。</p> <p>第1次計画については計画どおり進捗しており、第2次計画への繰り越しはない。</p>
	<p><b>(2) 都市計画マスタープランの進捗状況</b></p> <p>市民アンケートでは、和光市は交通の便が良いなどの地理的特性が魅力となっているが、商業施設などの不足や、スポーツ施設などの充実の他、災害に対する備えを望む声も多くあった。</p> <p>地域別構想では小学校区を基本として、まちの特徴を考慮したコミュニティに重点をおいた市内4地域を設定(案)している。</p> <p>都市マス作業部会の報告として、都市マスと、公共施設マネジメント実行計画とで小学校区を基本とした考え方を共有する旨の記載を要望。外環丸山台地区の活用の記載を要望。公共施設マネジメント実行計画だけでなく、地域公共交通計画などの各課がもつ計画とも、都市マスに関連づけていくとのこと。</p>
松宮副委員長	<p>防災について、公共施設を考えるにあたり、自分がどこに避難すればいいか防災訓練に関係なく普段から利用していると避難もしやすい、そういう視点を持ちながら今後も考えていく。</p>
中川委員長	<p>市民意見で、防災施設、スポーツ施設などの要望があったことに関して、この先第三次計画時の学校の施設複合化の際に盛り込まれるかと思うが、マネジメント実行計画の事務局としての考えはどうか。</p>
中川委員長	<p>学校建て替え複合化については、今後の実行計画の柱となるので、行政で積極的に進めていく。下新倉小学校が、このマネジメント計画以前に建設された複合化施設であるため、この建物を検証して複合化を計画に盛り込む条件を検討していく。商業施設やにぎわいが欲しいというような意見については民間活力が引っ張っていくことができるようにコーディネートしていく。</p> <p>防災については、広沢複合施設にて、帰宅困難者への対応や、防災トイレ、備蓄倉庫の併設など、防災面でもモデル事業としている。</p>
事務局	<p><b>(3) ヤリクリ大作戦～第2次計画の方向性</b></p> <p>市の財政難に対し、公共サービスを低下させないため、コスト削減とともに和光市の潜在能力に注目して歳入増を図るため、広告収入や、自販機等による財産貸付、駐車場の有料化、小中学校のプールの統合などを検討。今年度から実施していき、積み残しは第2次計画にローリングしていく。</p> <p>小中学校の施設改築は第3次計画がメインとなるため、第2次計画では小中学校個別施設計画と公共施設マネジメント実行計画の推進に向けて教育委員会との連携体制強化して考えていく。</p> <p>市有財産の有効活用として外環上部利用を検討していく。官民連携手法についてマニュアルを改善して利用しやすくしていく。</p>
	<p><b>●委員間協議</b></p>
中川委員長	<p>○矢部委員の意見</p>

	『公共施設マネジメントは合理的であることを重点において進めるものであり、今までの慣習にひきずられずに、未来のために策定する計画である。都市マスについては、地域区分を統一することは評価するが、それをどう利用していくかが重要になってくる。国土交通省の長期展望専門委員会では、中長期的な観点からは重要な議論であり先々の計画の参考とされたい。』
伊 部 委 員	<p><b>○ヤリクリ大作戦、第2次計画の方向性について</b></p> <p>都市マスの意識調査からも、子供、老人はそれぞれのコミュニティを形成、独身は交わらない、公共施設はそれらの人々が交わるとよいと思う。</p> <p>ヤリクリ大作戦では様々な方策が検討されているが、賃貸住宅経営でも、お花の世話、ゴミ拾い、高齢者の見守りなど、お金を稼げる仕事はたくさんある。みんなが潤うと同時に顔も知り合えるような仕組みがあるとよい。</p>
中川委員長	民間施設で用途を共用して運営をうまくやってる事例はあるか。また、若い人が使う施設と、高齢の方が使う施設を複合化することによって交流は進められるのか。
伊 部 委 員	規模は小さいが、地元の不動産屋などがひとつの建物を運営しながら地域交流を図っている事例はある。
松宮副委員長	<p>海外でも図書館を核にして地域の活動をする施設を複合するなど、日本でいう公民館のようなものを地区ごとの団体が運営している。日本でもいくつか事例はあるが多世代が交わる事例は少ない。同じ箱の中にいろんな世代が来やすい施設が地域ごとにあるとよい。</p> <p>都市マスの説明で地域の特徴で地域区分をしているが、将来バイパスの延伸や、地下鉄延伸などで交通手段も変わっていくため、地域の特徴は変わっていく。そういった色々なことを考慮した計画が和光市は必要だと感じる。</p> <p>今後複合化を検討していくために、下新倉小の検証をするということだが、事務局としてはどのように行こうと考えているのか。</p>
事 務 局	<p>下新倉小は複合化にあたってセキュリティ面など、地域の意見を聞いて造ったが、実際の運営は改善の余地がある。もっと使いこなすにはどう使っていたらいいのか、学校関係者や、職員、教員、地域の方などの意見を聞き安全で便利な複合施設をつくる前提条件として整理したい。</p> <p>広沢複合施設の児童センターでは中学生以上の世代の取り込みも考えており、民間の企画で「HADO」というAR(拡張現実)スポーツを導入予定で、多くの青少年にも来場してもらい幅広い世代の交流が図れると考えている。児童発達支援センターの見守りが必要な児童についても行政がコーディネートして交流したり、温浴施設と児童センターに家族で来れたり、世代を越えて集まれる施設になると考えている。</p> <p>造って終わりではなく、どのように使っていくかも含めて話しあっていきたい。そうするにあたっては、矢部委員の意見にもあったように、今までの慣習や特定の団体の意見のみに囚われず合理的に考えていくということを念頭において進めていかなければならず、行政内部で合理的に考えて市民の皆様に説明していきたい。</p>

牧 委 員	<p>和光市自体がコンパクトな市であるが、子供の行動範囲もコンパクトで、北側と南側で線路を跨いだ施設に行くことはない。勉強をするにしても図書館ではなく公民館に集まったり、飲食店などを利用している。</p> <p>公園に関しても利用制限などがあると、それができる公園に集まっている。</p> <p>計画は小学校区単位の地域で考えているが、小学校より小さい範囲でコミュニティを形成しているため、そういう特性も活かして欲しい。</p> <p>都市マスの地域別構想の4地域の分けは、子供の行動範囲では広い。</p>
事 務 局	<p>都市マスの地域区分は、今後のインフラが整備されて地域の特性が変わっていくということまで反映している。</p> <p>これより小さい枠組みについては、公共施設マネジメントで行う。公園の部署においても、歩いて行ける範囲での公園の魅力化を図っていく取り組みを考えている。学校を複合化することにより、子供たちが学校に行く機会を増やすことができるので、公共施設マネジメントでは都市マスより狭いエリアで学校配置を利用形態を踏まえて考えていくということも手法のひとつと考えている。</p>
伊 部 委 員	<p>車を所有している人は減っている。移動手段が、自転車やバス、歩きになる。小さい範囲でお金がなくても行ける場所が、まち単位、小学校単位、地域包括センターなどのお年寄りも単位も含めて、まとまっていければよい。</p>
中 川 委 員 長	<p>今年度策定する第2次計画では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広沢 PFI や下新倉小の複合施設運営の検証を行う。</li> <li>・ 都市マスの市民意見や公共施設のあるべき姿を考え、小学校の建て替えを契機にして、施設をどのように複合していくのか精査する体制を計画の中で進めていく。</li> <li>・ 施設の運営についても、民間をどのように入れていくのか、施設のマネジメントと併せて仕組みづくりを計画の中に盛り込むことが重要。</li> </ul> <p>以上を踏まえ、建て替えが本格化するため第3次計画につなげていくため、第2次計画はそのための準備を進めていくという方向で検討していく。</p>
全 員	<p>異論なし。</p>
5 閉 会	